

第73回和歌山大学特別支援教育コーディネーターフォーラムのご案内

- 日時：2017年8月23日（水）午前10時～12時（受付 9時30分～）
場所：①和歌山市：和歌山大学 システム情報学センター 1F 第2演習室
②田辺市：和歌山県立情報交流センター（ビッグ・ユー） 研修室4
③新宮市：みくまの支援学校 会議室
④橋本市：きのかわ支援学校 会議室
講演：発達障害のある子どもの二次障害予防と回復を考える

二次障害に陥った発達障害のある生徒たちの対応とその後

- 講師：和歌山大学教育学部・教授 武田 鉄郎
和歌山大学大学院教育学研究科
（和歌山大学附属特別支援学校・教諭） 北岡 大輔

【講演の要旨】

発達障害のある生徒たちは、誤解を受けて差別や偏見、いじめの対象となりやすく、「社会的障壁」により不登校や心身症等、日常生活や社会生活に大きな制限を受けてしまうことが少なくありません。

私たちの研究グループは、小中学校から特別支援学校の中学部・高等部に進学してくる二次障害を抱えた生徒たちの実態把握を数年間にわたって行い、これらの生徒の多くが心的外傷（トラウマ）を抱え、不適応な状態にあることを明らかにしてきました。また、和歌山大学附属特別支援学校高等部において、7年前から発達障害のある生徒の適応を促進する「セルフデザイン」を軸とした指導を実践してきました。「セルフデザイン」とは、二次障害に陥った子どもたちが、本来の自分を取り戻し、さらに成長していく過程におけるカリキュラムであり、様々な活動を通して、生徒同士、生徒と教師の関係性を高め、信頼関係の再構築を目指すものです。同時に、自尊感情を高め、自己効力感を高めることを目指します。このような取り組みをしていくことでレジリエンス（回復力）の力が高まることも期待できました。

今回のフォーラムでは、武田は、「発達障害の二次障害、予防等に関する基本的な考え方」を概説します。そして、北岡大輔氏から「和歌山大学附属特別支援学校高等部でセルフデザインを軸とした指導の説明、社会人となった卒業生の事例を通し、今までの実践の検証に関する内容について」を発表してもらいます。そして、発達障害の二次障害の対応、予防、又はレジリエンス、心的外傷後成長（posttraumatic growth）に関する議論したいと考えています。

皆様方の多くの参加をお待ちしております。

※暴風警報・大雨警報発令時のフォーラム実施について

- ・開催当日8：00の時点で、講演者がいる会場（今回は和歌山市）に、暴風警報もしくは大雨警報が発令されている場合は、全ての会場でのフォーラムを中止とさせていただきます。
- ・開催当日8：00の時点で、暴風警報もしくは大雨警報が発令されている地域にある会場は、フォーラムの開催を中止いたします。ただし、会場によって状況が異なるため、8：00以前に中止が決定される場合もあります。その際は会場から連絡がありますのでご注意ください。

参加申込み：お手数ですが、和歌山大学会場にご参加される方はメールまたはFAXでお申し込みください（先着50名）

問い合わせ先：和歌山大学特別支援教育コーディネーターフォーラム事務局

FAX:073-457-7390 メールアドレス info-seforum@center.wakayama-u.ac.jp